

有縁の皆さんでお読み下さい

己が身にひき比べて、殺してはならぬ、殺さしめてはならぬ。

あなたの「生きる」を支えるお寺

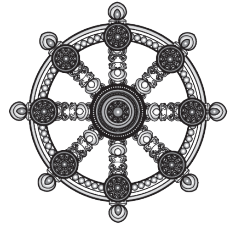
毎月 25 日発行 しょう しき しょう こう

お寺のかわら版

じゆんしょうじほう

純正寺報

青色青光 No.351



発行責任者：浄土真宗本願寺派 護法山 純正寺 住職 釋 覚恵 (漢見覚恵)

〒 522-0075 滋賀県彦根市佐和町 3-29 TEL (0749)-22-7888 FAX (0749)-47-4829

メールアドレス :purity.temple.since1499@gmail.com

※この紋章は「法輪」といい、車の輪が回り続けるように未来に向かって永遠に弘められていく仏教を象徴した、世界中の仏教徒共通のシンボルです。

○八月十一日(月・祝)

午前十時から正午まで

歡喜会

午後一時半から三時半まで

物故者追悼法要

ご法話

藤波蓮凰師

○八月二十五日(月)

午前十時から正午まで

午後一時半から三時半まで

こんき常例布教

ご法話

芝原文雄師

YouTube 純正寺チャンネル



LINE 純正寺公式アカウント



純正寺公式ホームページ



facebook 常朝事チャンネル



純正寺の法要は「YouTube」で、常朝事は「facebooklive」で、それぞれ生配信でも録画でもご参拝・お聴聞いただけます。

住職法話 われかくのごとくきく 我聞如星
 遠く出遇いの宿縁をよるこぶ ⑥

私が何故、お念仏に生きるようになったのか

阿弥陀様の大慈悲心

私の六十年の人生。その前半の三十年は、私が念仏者として生きる確かな基盤が固まる期間だったように思います。

本堂のない寺院に生まれ、仏教・寺院・僧侶に反感を抱き、祖父と両親の臨終を十五年の間に次々に看取る。どの出来事をとつても、忘れたくなるほど辛く、マイナスイメージを持たれるような出来事でした。しかし、その出来事が全て、私が浄土真宗の教えに自覚的に出遇う強い縁になったのでした。

歎異抄の第十三条に「さ

るべき業縁のもよほさばいかなるふるまひもすべし」という親鸞聖人のお言葉が紹介されています。これは、「人はだれでも、しかるべき縁がはたらけば、どのような行いもするものである」という意味です。ということとは、私がお念仏に生きようとする（どのような行いもする）のは、死別をはじめとする辛い出来事（しかるべき縁）があったからこそそだったということなのでした。

それは、忘れたくなるような辛い出来事も、それが

お念仏と出遇うご縁になることよって、忘れられない大切な出来事に転ぜられるということ。阿弥陀様の大慈悲心のはたらきである南無阿弥陀仏は、まことに不思議なものです。

お念仏に生かされる

私は今年の四月から、三十五年ぶりに母校の龍谷大学大学院に聴講生として通い出しました。「臨床宗教師養成プログラム」を受講するためです。それは、東日本大震災の際に被災された方々へ有意義な活動をした宗教者を目の当たりにした医師が、東北大学にそのような宗教者を養成するコースを作られたことに始まります。

災害現場や医療現場には、深い悲しみや辛さに苦しみ悩むたくさんの方がいます。その悲しみや辛さの傍にいて、この悲しみや辛さを解決されるための支援に心がけるのが臨床宗教師の役割です。

私の後半の人生三十年は、「ビハラー活動」を自らの念仏者として生きる活動と心得て生きてきた日々でした。臨床宗教師も、その活動の一部です。そして、その原動力は人の苦悩を決して見放さない、阿弥陀仏の大慈悲心でした。

これからも、一日一日が阿弥陀仏の大慈悲心の中で、様々な出来事に泣き笑いしながら、お念仏に生かされる毎日であります。終

沖縄戦終戦80年追悼法要



太平洋戦争敗戦から80年に当たる今年、本願寺沖縄別院が7月3日(木)、糸満市平和祈念公園において戦後80年全戦没者追悼法要を営み、純正寺住職も参拝した。また、ひめゆりの塔とひめゆり平和祈念資料館にも訪れ、壮絶な沖縄戦の実際を目の当たりにした。

すでにセミが元気になっていない。沖繩。那覇市から、南に車で四十分ほどにある糸満市。平和祈念公園へと続く国道三三一号線を走ると、お土産屋さんや食堂が並ぶ少し賑やかなエリアに「ひめゆりの塔」と大きな看板が見えた。

駐車場に車を駐めてお土産屋さんを抜けると、入り口に献花用のお花を販売しているお店があった。三百円でお花をひと束買って、木陰の石畳を進むと「ひめゆりの塔の記」と刻まれた石碑がある。沖縄師範学校女子部と沖縄県立高等学校の生徒職員二九七名が、あの沖縄戦に巻き込まれていった様子が綴られていた。奥に続く小径を行くと、



塔の前には沢山の花束がかざられていた

ひめゆりの塔が見えてきた。横長の白い石碑には、ひめゆりのオブジェがあしらわれ、真ん中の黒い石板には学徒・教師の戦没者の名前が刻まれていた。

たくさんのお花束の前で手を合わせ、さらに奥へ進むと「ひめゆり平和祈念資料館」があった。

ひめゆり平和祈念資料館は、戦争の悲惨さや平和の大切さを後世に語り継ぐた

に、一九八九年六月二十三日に開館。ひめゆり学徒の遺品、写真、生存者の証言映像、南風原の陸軍病院壕の一部や伊原第三外科壕内部を再現したジオラマなどを見学した。

午後からは、平和祈念公園内にある「平和の丘」で営まれた「戦後八十年・太平洋戦争全戦没者追悼法要」に参拝した。大谷光淳ご門主、園城義孝総長隣席のもと、沖縄県内の寺院住職や門徒の他、九州地方をはじめ全国各地からの参拝者約二百名と共に、沖縄別院の中岡順忍輪番の導師で法要が営まれた。法要前の、吉川嘉勝さんの生々しい追悼の言葉に、強く胸を締め付けられ、非戦平和の思いを新たにしたい。



8月の皆の宗サンガ

サンガ(僧伽)とは、利害関係を超えた、互いに支え合う、安心できる本当の人のつながり「お念仏の家族」をあらわしています。純正寺のすべての活動は、あなたにも仏縁が整って、まことの同朋(とも)の出会いが広がっていくことを願い、運営されています。



キッズサンガ「ほとけの子ども会」

9日(土)

10:00~12:00

就学前・小・中学生対象

「らいはいのうた」のお勤めと住職による仏典童話の読み聞かせ。おやつやフリータイムもあります。

ゆっくり学ぼう家「寺子屋」

3日(日)・31日(日)

16:00~18:00・15:00~17:00

小学生・中学生対象

教科書に沿った問題集や宿題、自主勉や読書に取り組みます。休憩時には、おやつもあり。

みんなの食堂ビハーラ

6日(水)・27日(水)

17:00~19:00

年齢・性別は問いません

子どもからお年寄りまで、誰でも参加できる楽しい食事と学習の時間。事前にお申し込みください。

世のなか安穏なれ「ビハーラ彦根」

17日(日)

18:00~20:00

年齢・性別は問いません

参拝者の提起や質問を手がかりに、車座になって聴き合いながら、ビハーラの心を学びます。

ヨガ風ストレッチ「びーら体操」

5日(火)・19日(火)・26日(火)

10:20~11:30

年齢・性別は問いません

お香とオルゴールの音色の中でのヨガ風ストレッチで、強くて柔らかな身体と心を作りましょう。

「月例法話座談会」

18日(月)

14:00~16:00

年齢・性別は問いません

日常の「何故？」を通して、お念仏に生きる尊さと確かさを座談会形式で感じ学びます。

「歓喜会」「物故者追悼法要」

11日(月・祝) 10:00~15:30

年齢性別は問いません

お浄土に往生されたご先祖がくださる仏法聴聞のご縁です。ご法話は、本願寺派布教使の藤波蓮凰師です。

みんな法友こんき常例布教

25日(月)

10:00~12:00.13:30~15:30

年齢・性別などは問いません

所属寺の枠を超えた気楽なご法座です。ご法話は、甲良町専光寺の芝原文雄師です。

ほとけの子ども会「サマースクール」

21日(木)~22日(金)

小学生・中学生対象

夏休みの本堂お泊まり子ども会。ダンボールアート教室や仏典アニメ上映、たこ焼きパーティーや銭湯など、楽しみ盛り沢山です。

住職が聴きます「よろず相談」

随時、年齢性別は問いません

生きることが辛くなる前に、早めに気軽にご相談下さい。

相談予約専用電話番号は、

090-7874-2849

相談予約専用メールアドレスは namo-yorozu@docomo.ne.jp

清々しい朝のおつとめ「常朝事」

年中毎朝 6:00~6:50

年齢・性別など問いません

『正信念仏偈』と『和讃』の繰り読み、『御文章』の拝読と住職の法話があります。Facebookでライブ配信もしています。

食堂ビハーラをお手伝いください。毎回はありませぬ。毎回、午後五時半から七時過ぎまでの、夕食を一緒にいただきます。夕の配膳と片付け作業です。ご検討ください。

ご相談です

今年、長い長い暑い夏の夏。熱中症対策は、昨年以上に万全に。今月は、五〇六〇個のキャップをお預かりいたしました。